

かつて日本には、四季の移ろいに寄り添うくらしがあった。

くらしに生かす旧暦の知識

講師：高橋 尚美 さん（大阪国際大学 国際コミュニケーション学部 講師）

開催日時：2013年4月7日（日）13:30～15:30

会場：ウィングス京都（京都市男女共同参画センター）2階 セミナー室A

京都市中京区東洞院六角下る御射山町262 ☎ 075-212-7470

募集：25名 参加料：2000円

持参物：筆記具・電卓

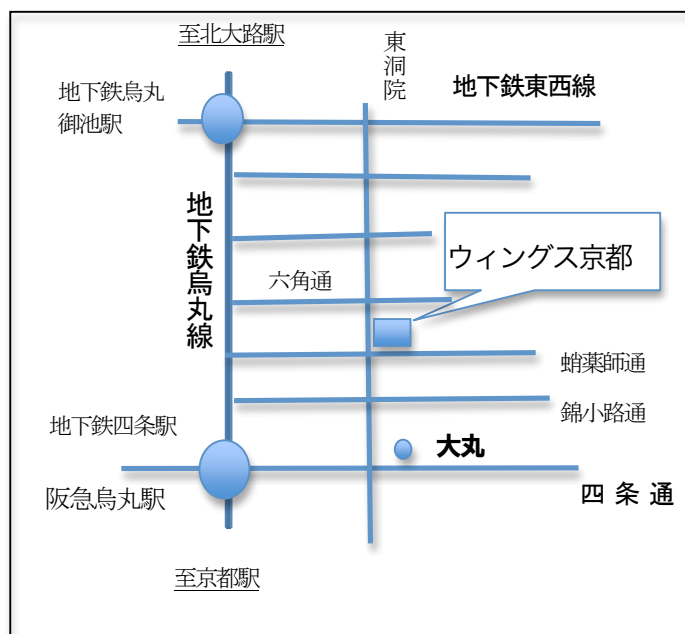


◆ プログラム

月の満ち欠けに従い、季節を二十四節気であらえていたくらし。明治5年まで続いた暦のしくみと、その季節感についてお話しいただきます。旧暦を知ると、雛祭り、端午の節句、七夕などの年中行事にも新たな発見があり、先人たちの思いを現代のくらしに生かすことができます。二十四節気を知ると日々のくらしを豊かにできるだけでなく、厳しい暑さや寒さを乗り切るための精神的な支えにもなります。

高橋 尚美（たかはし なおみ）さんプロフィール

1961年京都市生まれ。5歳で茶道の稽古を始め、18歳で教える。高校の英語教員、専門学校での英文タイプ講師、短大でのパソコン講師を経て、大阪国際大学で「日本文化の英語による開示」を目的とした科目を中心に茶道・風呂敷・着物などの日本文化に関する授業を担当して15年目。生きた教材となるべく、いつも和服で教壇に立ち、風呂敷包みを持ち歩く。茶道裏千家茶名「宗尚」。1999年よりふろしき研究会会員。NHK WORLD（NHK国際放送）TV “Begin Japanology”、毎日放送テレビ「美の京都遺産」などにも出演。



◆ ウィングス京都へのアクセス

地下鉄烏丸御池駅（5番出口）、四条駅、阪急烏丸駅（20番出口）下車徒歩約5分
東洞院通鮎薬師上る東側

お申し込み・お問い合わせ

ふろしき研究会事務局

☎075-432-2722 FAX075-432-3832

Eメール：rsj57767@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/furoshiki/>

主催

ふろしき研究会